



2020年5月7日

各位

会 社 名 株式会社ヤマダ電機
代表者名 代表取締役社長 三嶋 恒夫
(コード番号 9831 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 清村 浩一
(TEL. 0570-078-181)

2020年3月期 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期個別業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期の通期個別業績と前期実績との差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前期実績(A) (2019年3月期)	百万円 1,396,451	百万円 20,101	百万円 26,027	百万円 916	円 銭 1.13
当期実績(B) (2020年3月期)	1,405,451	24,830	31,342	8,465	9.76
増減額(B-A)	8,999	4,728	5,315	7,549	
増減率(%)	0.6	23.5	20.4	824.0	

2. 差異の理由

前期実績との差異要因につきましては、前期の上期に家電事業強化として新しい収益モデルへの改革に取り組んだことにより、売上総利益をはじめとした各利益へのマイナス影響が発生、更に2018年9月1日に実施(効力発生日)した株式会社ヤマダ・エスバイエルホームの簡易株式交換による完全子会社化に伴う関係会社株式評価損の発生等(14,201百万円)を特別損失に計上したことが主な要因となります。

以上